

---

# 平成29年度 事業報告書

---

学校法人 石田学園

# 目次

---

I : 法人の概要.....	1
1. 建学の精神	
2. 設置する学校の状況	
3. 役員及び評議員	
4. 教職員数	
5. 学園組織図	
6. 校地・校舎・施設の概要	
II : 事業の概要.....	3
III : 財務の概要.....	6
1. 平成29年度 資金収支計算書	
2. 平成29年度 事業活動収支計算書	
3. 平成29年度 貸借対照表	
4. 監査報告書	
5. 経年比較（過去5年：平成25年度～平成29年度）	
6. 財務比率（過去5年：平成25年度～平成29年度）	
7. 収益事業 第9期決算報告	
IV : 参考資料.....	13

# I：法人の概要

平成30年5月1日現在

## 1. 建学の精神

学校法人石田学園は、明治40年に校祖石田米助翁によって創立された。学園の創立にあたり、建学の精神を「和を以て貴しと為す」とした。

「和の精神」とは、ただ諍いを避けることを意味しているのではなく、自分に厳しく、他人には寛容であり、もてる力を最大限発揮して自分の責任を果たし、互いに助け励ましあいながら、組織全体の調和を図ることを最優先する相互尊重の精神である。

## 2. 設置する学校の状況

広島経済大学		開設年度	入学定員	収容定員	H30年度 入学者数	H30年度 在学生数	H29年度末 累積卒業生数
大学院 経済学研究科	経済学専攻／前期課程	S54年度	10	20	7	14	243
	経済学専攻／後期課程	H2年度	3	9	0	3	30
経済学部	経済学科	S42年度	330	1,320	313	1,139	17,672
	経営学科	S49年度	310	1,240	268	1,078	14,852
	ビジネス情報学科	H14年度	80	340	56	218	1,026
	メディアビジネス学科	H16年度	60	240	57	203	647
	スポーツ経営学科	H23年度	70	260	69	297	221
合 計			863	3,429	770	2,952	35,866※

※国際地域経済学科卒業生 1,175 名含む

## 3. 役員及び評議員

理事8人、監事2人、評議員17人

役職	氏名	役職	氏名
理事長・評議員	石田 恒夫	評議員	石田 真英
副理事長・評議員	石田 優子	評議員	南 條 滋
常務理事・評議員	松井 寿貢	評議員	竹村 雅之
理事・評議員	小谷 幸生	評議員	堀江 正憲
理事・評議員	柳川 和優	評議員	石田 晃司
理事・評議員	赤木 蒸治	評議員	渡部 邦昭
理事・評議員	上田 宗岡	評議員	衣松 美隆
理事・評議員	中尾 建三	評議員	上重 五郎
監 事	信原 弘	評議員	濱口 博行
監 事	南 條 泰		

## 4. 教職員数

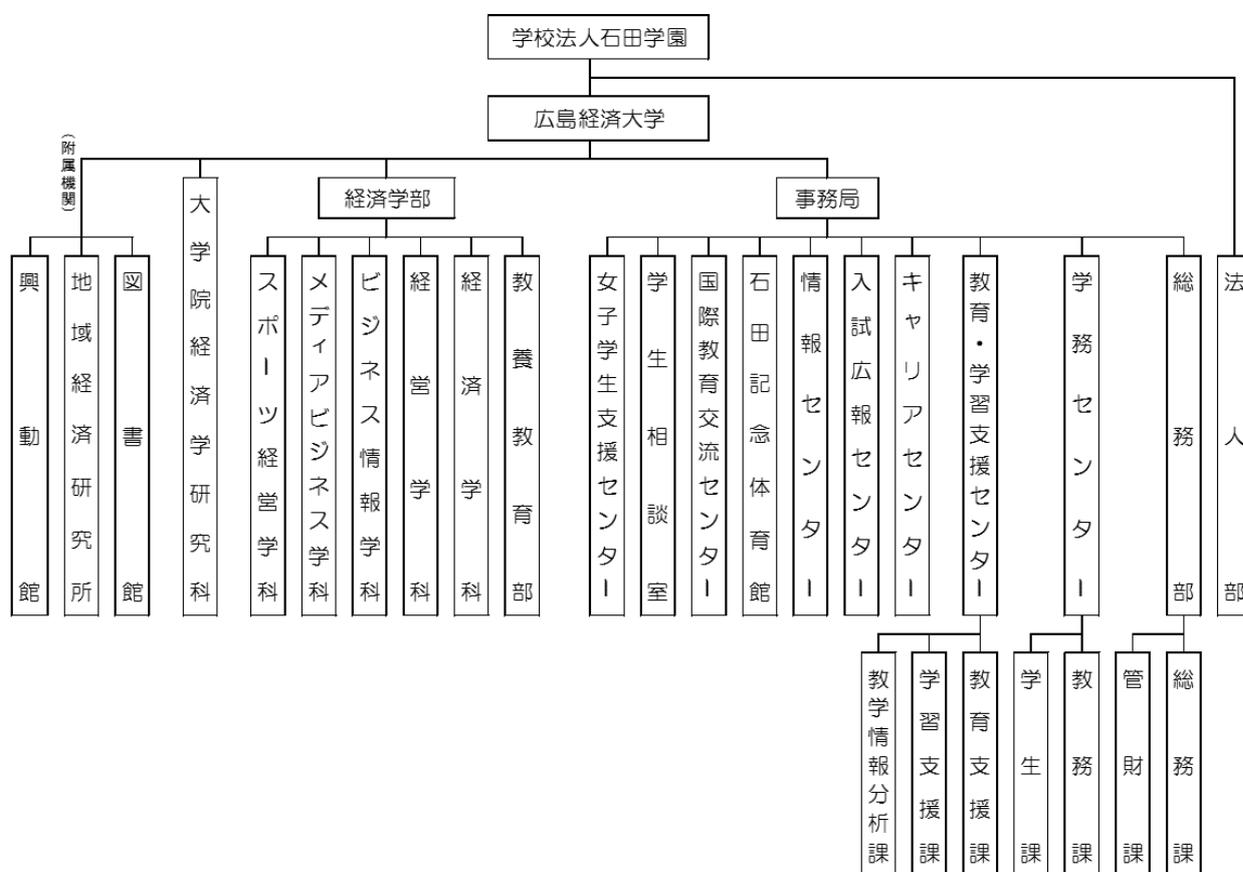
【教員】

		教授	准教授	助教	講師	合計
大学院	経済学研究科	4	0	0	0	4
	経済学部					
	経済学科	14	4	1	0	19
	経営学科	9	4	3	0	16
	ビジネス情報学科	5	2	2	0	9
	メディアビジネス学科	5	4	0	0	9
	スポーツ経営学科	9	5	0	0	14
	教養教育部	18	9	3	3	33
合 計		64	28	9	3	104

【職員】

専任	契約・派遣	合計
85	14	99

## 5. 学園組織図



## 6. 校地・校舎・施設の概要

【大学】

校地・校舎	土地面積	建物面積	施設
祇園キャンパス	216,804 m <sup>2</sup>	71,028 m <sup>2</sup>	<校舎>本館、1、2、3、6号館、メディア情報センター、明德館、学生会館、興動館、図書館 <運動施設>体育館、野球場、屋内野球練習場、陸上競技場、サッカー場、テニスコート、弓道場、アーチェリー場、フットボールパーク <その他>志伝寮、和み館
立町キャンパス		962 m <sup>2</sup>	講義室、会議室
宮島セミナーハウス	1,136 m <sup>2</sup>	1,367 m <sup>2</sup>	会議室、宿泊施設
計	217,940 m <sup>2</sup>	73,357 m <sup>2</sup>	

【法人】

土地	土地面積
立町ビル（収益部門）	593 m <sup>2</sup>
翠町駐車場（収益部門）	324 m <sup>2</sup>
山林（祇園、瀬野川、廿日市）	1,241,130 m <sup>2</sup>
計	1,242,047 m <sup>2</sup>

## Ⅱ：事業の概要

### ◆アイデア創造空間「明德館」、始動

平成29年、本学は開学50周年を迎え、これを記念して、日本最大級のアカデミック・commons「明德館」が完成した。

明德館は、新しい学び方を可能にするための仕掛けを備えた施設であり、学生は、授業、発表・報告会、ガイダンスの利用以外にも、仲間で集まって話し合いをしたり、気分を変えてアイデアを練ったり、授業の合間にリラックスしたりと、自由に活用している。

各フロアでの様子は次のとおり。

9・10階のラーニング&ディスカッションフロアでは、1年次ゼミ（大学入門ゼミ、興動人入門ゼミ）等のアクティブラーニング形式の授業が行われている。全面ガラス張りのため、適度な緊張感があり、学生たちの集中力が増している。

7階のプレゼンテーションコートでは、ゼミ、興動館科目・プロジェクト、女子学生支援関係科目等の発表等で積極的に活用されている。発表前には、学生たちがグループワークで話し合い、プレゼンテーションの練習を重ねていた。また、フロアに仕切りや壁がないため、通りがかりに足を止める学生の姿も見られた。

6階は、学生の学びへの支援を行う「ラーニングサポートコーナー」を設置し、学生の自主学習、教員による学習相談等の充実を図っている。英語の専任講師2名が常駐し、TOEICの学習方法、授業の予習・復習、テスト対策等を行い、少しでもレベルアップしたい学生が何度も参加している。スチューデントアシスタント（SA）による学習支援では「簿記」を新たに設け、教員とSAとが合同で試験直前対策講座を実施した。

5階のリフレッシュ&コミュニケーションフロアでは、留学生主催のイベントや留学生と英語による交流の時間「イングリッシュフレンズアワー」を設け、交換留学生と日本人学生が、週1回、英語だけで交流している。また、女子学生同士の交流を深める「こまち会イベント」、授業とは異なる角度から学びの興味を広げる「ひるがく講座」、「ゆうがく講座」、学生FD等を開催している。

2～4階のスチューデントcommonsでは、区切られたゼミスペースで、打ち合わせ、ゼミ間の交流等に利用していた。

今後も、新入生対象の明德館ツアー等の周知活動を通じ、学びに有効なスペースであることをアピールしながら、利用者数の増加を目指す。また、滞在時間、利用者層等の分析も行い、図書館、興動館に匹敵する施設としての地位を確立させていきたい。



#### 【明德館 フロア概要】

9・10階	ラーニング&ディスカッションフロア	ディスカッションルーム
7・8階	アクティブラーニングcommons	ワークショップルーム、トークボックス、知の壁、こあがリンク、プレゼンテーションコート、グループワークエリア、メッセージボード 他
6階	オフィスフロア	こまちルーム、ラーニングサポートコーナー、教育・学習支援センター、女子学生支援センター、国際教育交流センター
5階	リフレッシュ&コミュニケーションフロア	コネクションエリア、国際交流ラウンジ、ワールドカフェ、リトルマーメイド
2・3・4階	スチューデントcommons	ゼミ専用スペース
1階	イベントフロア	エントランスロビー、明德ホール

## ◆経営学部、メディアビジネス学部の設置届出申請

中四国地方唯一の経済系専門大学として、有為な人材を社会に送り出してきた本学は、平成31年度開設に向けて、「経営学部」、「メディアビジネス学部」設置届出の申請を行った。届出の内容は、経済学部5学科のうち「経営学科」、「スポーツ経営学科」の2学科を廃止し、経営学部の中に新たに設置するというもの、並びに「ビジネス情報学科」、「メディアビジネス学科」の2学科を廃止し、メディアビジネス学部の中に新たに設置する。

3学部の新体制のもと、幅広い教養と人間力、広範かつ応用可能な専門的知識を身につけ、変化の激しいビジネス最前線で活躍できる人材の育成を目指す。

## ◆教育改革の実現

### ①英語の週5回、45分授業（平成27年度導入）

新英語カリキュラムが始動し、英語必修4単位から8単位（必修6単位、選択必修2単位）に、1年次生は月～金曜日まで毎日（45分授業）受講するなど、学生の英語力の向上を図った教育内容に充実させた。今後は、多様な英語力の学生がそれぞれにとって最適なコンテンツで学習できるような教育改善（統一性と多様性の中道の模索）を目指したい。

### ②再試験制度（平成26年度導入）

厳正な成績評価を実施し、学生の学びの強化に資するため、定期試験又は追試験を行った科目のうち、成績評価点が50点～59点までの科目に対して、希望する学生に再試験を行っている。導入当初は、再試験の受験対象となる点数範囲に関して、一部科目で極端な偏りが見受けられるものがあったが、現在ではその偏りが是正され厳正な評価となっている。平成29年度は前期140人、後期102人の受験があり、その内、前期111人（79.3%）、後期77人（75.5%）が合格となった。

### ③進級制度（平成26年度導入）

3年次進学時に進級制度を導入。2年次末までに指定科目を含めて51単位以上修得した者に対して3年次へ進級することを認め、2年次に留年となった者のうち、指定科目を含めて45単位以上を修得していれば、3年次への仮進級が認められる。その場合、3年次前期末までに63単位以上を修得していれば、正式に3年次への進級が認定される。この制度を導入したことにより、授業を計画的に履修し、学修の効果を高めることができている。

平成29年度の進級制度の結果は、対象者751人に対して、進級者633人（84.3%）、仮進級者34名（4.5%）、進級不可者84名（11.2%）となり、約1割の学生が留年となった。

## ◆学生支援

全ての学生が安心して学生生活を送られるように、課外活動の活性化支援、犯罪・事故防止に向けた指導等を行っている。中でも、全学的なマナーアップの推進として、学友会・マナー指導員と連携して、挨拶運動、交通安全・喫煙等のマナー意識の向上を図った。学生が主体となったマナー向上推進運動を学内に浸透させ、各教室・部室の清掃・点検、キャンパスクリーンアップ運動等を行っただけでなく、その過程において、問題点・前例踏襲ではない新たな企画・実施を提案する等意識改革を目指し取り組んだ。

経済的な理由による授業料未納者への個別対応として、オリエントコーポレーションと提携し、新たな教育ローン「学費サポートプラン」を設定した。銀行より金利が低く、審査も速いため、在学生・新入生が利用している。

学生の満足度の向上をめざし、環境の整備を進め、新たに留学生寮「和み館」と屋内野球練習場が完成した。「和み館」は、居室 31 室の留学生寮で留学生同士が助け合い、安心感を得られる場所として、また、共有スペースは、地域住民、日本人学生、留学生との異文化コミュニケーションを図る場所としても利用できる。「屋内野球練習場」は、5 か所の投球練習場を設置し、打撃練習場としても使用できる。



和み館

キャリア・就職支援では、1 年次生から参加できる「公務員ガイダンス」をはじめ、3 年次生は全 6 回の「就職ガイダンス」に加え、ゼミ単位で行っている「3 年ゼミキャリアガイダンス」、「Uターン就職講座」、「学内合同企業説明会」を実施。中でも「卒業生による就活セミナー」は、27 社の卒業生から様々なアドバイスや激励を受けることができる人気の高いセミナーで、合同説明会等では聞けない内容を身近な先輩から教えてもらえるとして好評を得た。また 3 年次後期から実施したキャリアセンター職員による個別面談は、就職活動状況の早期把握につながる環境づくりに効果を発揮した。4 年次生では学内合同企業説明会（年 3 回開催）に加えて、企業単独による学内説明会・選考会も開催し、学生と企業の接点を多く設けた。



屋内野球練習場

その結果、平成 29 年度（平成 30 年 3 月）卒業者の就職希望者数に対する就職率は、前年度を 1.3 ポイント上回る 99.2% と、過去最高の実績となった。

#### ◆休学者・退学者の減少に向けた対策

大学に馴染めない、成績不振等の学生を早期に発見し、ゼミ担当教員、学務センター、教育学習支援センターが、個別に学生へ連絡・面談を行い、休学者・退学者の減少へつなげている。

具体的には、新入生を対象に、授業開始 1 週目、3 週目、5 週目の出席状況を確認しながら、出席不良の学生へコンタクトを取り、助言・指導を行っている。時には保護者を交えての面談も実施した。また、3 年次生への進級時に成績不振（進級留年者、仮進級者）となった場合、不足している科目・単位等の修得状況に応じて、進級・卒業に向けてどのように行動したらよいか、「個別成績面談シート」を利用し、ゼミ担当教員と面談を行っている。

#### ◆優秀な学生の受入れ

平成 30 年度入学試験の延べ志願者数は、昨年度に比べ 163 名増の 3,712 名（+4.6%）で 3 年連続の増加となった。ただし、入学者数は 765 名で、昨年比（809 名）5.4% 減となった。入試改革に取り組んで 6 年を経過し、入学者数は過去 2 年前年を上回ったが、今年度は厳しい結果となった。入学者・卒業者の質向上を確固たるものにするため、今年度も引き続き合格ラインのレベルを維持し、定員確保から学力確保のための入学試験を実施。より質の高い入学者の獲得を目指したが、合格者の質の向上は、国公立大学を含む上位校との競合となり、入学者の減少に繋がった。本学の入試改革や教育改革をはじめとした学生重視の基本方針に対する評価は、厳しい現実、挑戦への突入となった。女子の志願者数は昨年の 460 名から 522 名に増加（+13.5%）したが、入学者数は昨年の 122 名から 113 名に減少（-7.3%）。教育改革や女子カアップ等の学内改革による成果は、志願者獲得には成果として現れているが、あと一歩入学まで繋げる工夫が必要である。今後も成績上位層の志願者数のアップを目指す。大規模・中規模大学の定員遵守の厳格化政策に対応した追加合格が常態化している現状を踏まえ、本学は合格ラインのレベルを維持させながら、特徴ある志願者の追加合格への引き上げルールの策定等早急な対策が必要である。またさらなる歩留りアップを目指し、本学の取り組みの広報及びニーズの学内還元を強化し、より学習意欲の高い学生を迎え入れ、学生全体のレベルアップと有為な人材の社会への輩出を行いたい。

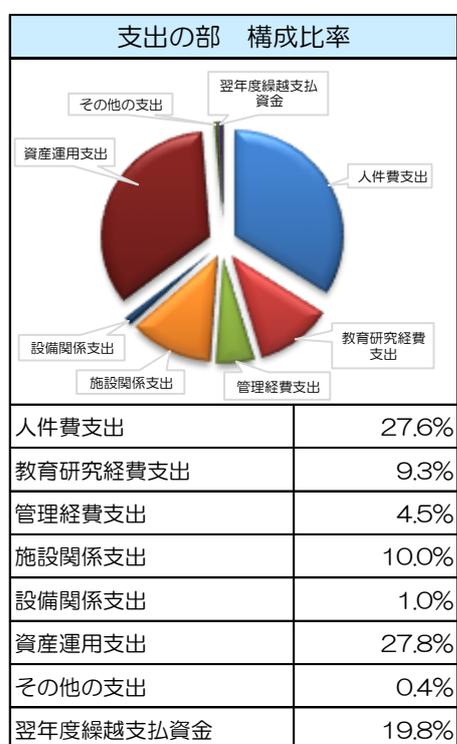
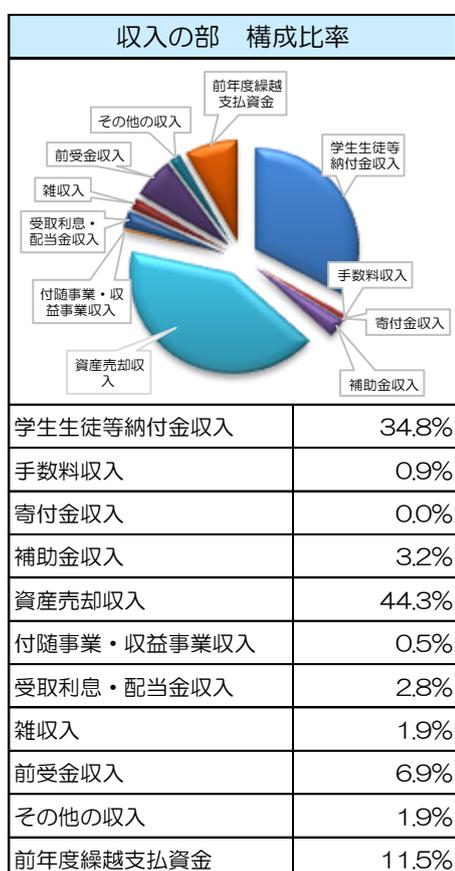
# Ⅲ：財務の概要

## 1. 平成29年度 資金収支計算書

当該年度の諸活動に対応するすべての収入及び支出の内容と支払資金（現金預金）の収入及び支出のてん末を明らかにするためのものである。

(円)

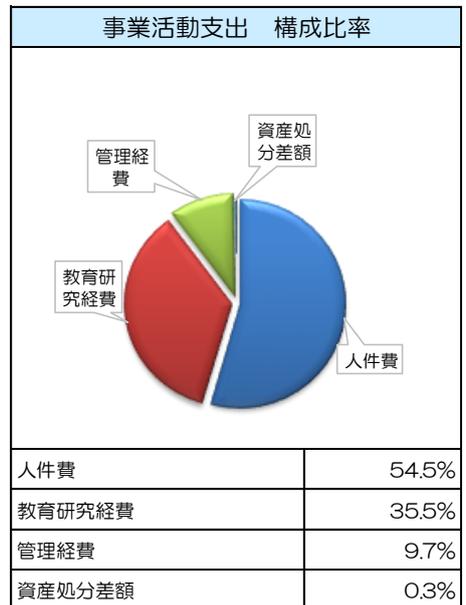
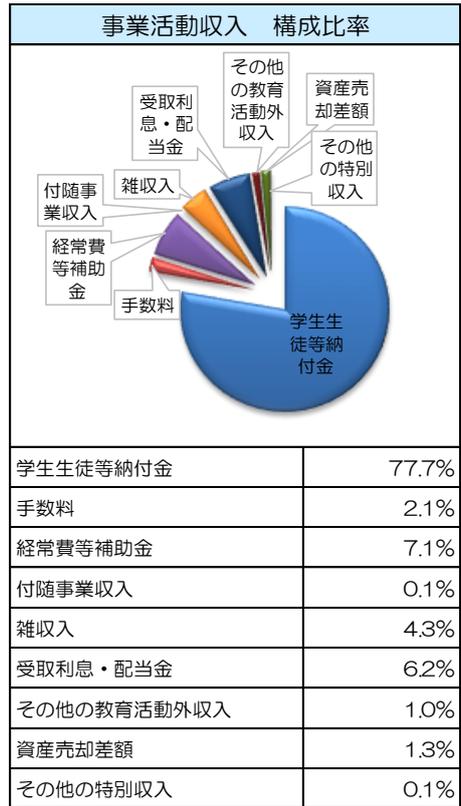
収入の部		支出の部	
科目	決算	科目	決算
学生生徒等納付金収入	2,651,820,000	人件費支出	2,105,167,266
手数料収入	71,444,212	教育研究経費支出	711,488,931
寄付金収入	1,148,000	管理経費支出	344,592,324
補助金収入	241,209,090	借入金等利息支出	0
国庫補助金収入	237,997,664	借入金等返済支出	0
地方公共団体補助金収入	3,211,426	施設関係支出	758,723,241
資産売却収入	3,374,614,591	設備関係支出	78,350,682
付随事業・収益事業収入	38,294,465	資産運用支出	2,119,815,820
受取利息・配当金収入	212,326,010	その他の支出	31,869,742
雑収入	147,783,497	資金支出調整勘定	△ 39,325,729
借入金等収入	0	翌年度繰越支払資金	1,506,021,058
前受金収入	528,989,000		
その他の収入	144,072,497		
資金収入調整勘定	△ 669,155,091		
前年度繰越支払資金	874,157,064		
収入の部 合計	7,616,703,335	支出の部 合計	7,616,703,335



## 2. 平成29年度 事業活動収支計算書

当該年度の事業活動収入及び事業活動支出の内容を経常的収支及び臨時的収支に区分して表示し、それぞれの収支状況を把握したものである。

		(円)		
		科 目	決 算	
教育活動収支	収入業の活動	学生生徒等納付金	2,651,820,000	
		手数料	71,444,212	
		寄付金	0	
		経常費等補助金	241,209,090	
		付随事業収入	3,294,465	
		雑収入	147,783,497	
		教育活動収入計	3,115,551,264	
		支出業の活動	科 目	決 算
	人件費	2,140,380,785		
	教育研究経費	1,392,912,231		
(うち減価償却額)	681,423,300			
管理経費	381,757,162			
(うち減価償却額)	37,171,095			
徴収不能額等	0			
教育活動支出計	3,915,050,178			
教育活動収支差額			△ 799,498,914	
教育活動外収支	収入業の活動	科 目	決 算	
		受取利息・配当金	212,326,010	
		その他の教育活動外収入	35,000,000	
		教育活動外収入計	247,326,010	
	支出業の活動	科 目	決 算	
		借入金等利息	0	
		その他の教育活動外支出	0	
		教育活動外支出計	0	
	教育活動外収支差額			247,326,010
	経常収支差額			△ 552,172,904
特別収支	収入業の活動	科 目	決 算	
		資産売却差額	45,936,523	
		その他の特別収入	3,189,285	
		特別収入計	49,125,808	
	支出業の活動	科 目	決 算	
		資産処分差額	12,418,170	
		その他の特別支出	0	
		特別支出計	12,418,170	
	特別収支差額			36,707,638
	基本金組入前当年度収支差額			△ 515,465,266
基本金組入額合計			△ 968,184,616	
当年度収支差額			△ 1,483,649,882	
前年度繰越収支差額			834,915,609	
基本金取崩額			0	
翌年度繰越収支差額			△ 648,734,273	
(参考)				
事業活動収入計			3,412,003,082	
事業活動支出計			3,927,468,348	



### 3. 平成29年度 貸借対照表

3月末現在の財政状態（資産、負債、純資産）の状態を表したものである。

(円)

資産の部		負債の部	
科目	H29年度末	科目	H29年度末
固定資産	44,419,765,395	固定負債	795,838,578
有形固定資産	23,241,933,246	流動負債	612,454,774
特定資産	9,824,471,293	負債の部合計	1,408,293,352
その他の固定資産	11,353,360,856	純資産の部	
流動資産	1,625,652,591	科目	H29年度末
資産の部合計	46,045,417,986	基本金	45,285,858,907
		繰越収支差額	△ 648,734,273
		純資産の部合計	44,637,124,634
		負債及び純資産の部合計	46,045,417,986

## 4. 監査報告書

### 監査報告書

学校法人石田学園  
理事会・評議員会 御中

平成30年5月18日

学校法人石田学園

監事

南條 教 

監事

信原 弘 

私たちは、学校法人石田学園の監事として、私立学校法第37条第3項及び学校法人石田学園寄附行為第15条の規定に基づき、同学園の平成29年度第51期会計年度における財産目録及び計算書類(資金収支計算書・事業活動収支計算書・貸借対照表並びに附属明細表)を含め、学校法人の業務並びに財産の状況について監査を行いました。

#### 1. 監査方法の概要

監査にあたり、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事から業務の報告を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧するなど必要と思われる監査手続きを実施しました。

また、会計監査人から報告及び説明を受け、財産目録及び計算書類につき検討を加えました。

#### 2. 監査の結果

- (1) 学校法人の業務に関する決定及び執行は適切であり、不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実はないものと認めます。
- (2) 財産目録及び計算書類は会計帳簿の記載と合致し、法人の収支及び財産の状況を正しく示しているものと認めます。

以上

## 5. 経年比較（過去5年：平成25年度～平成29年度）

### ①資金収支計算書

(千円)

科目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
学生生徒等納付金収入	3,263,385	2,914,030	2,680,075	2,591,706	2,651,820
手数料収入	60,691	60,520	63,442	69,824	71,444
寄付金収入	3,636	2,070	4,466	34,804	1,148
補助金収入	354,532	402,192	336,442	283,433	241,209
資産売却収入	3,539,854	6,378,593	7,870,218	6,421,532	3,374,615
付随事業・収益事業収入	35,479	34,706	38,742	40,211	38,294
受取利息・配当金収入	193,567	892,991	221,496	136,803	212,326
雑収入	50,501	94,523	194,173	143,171	147,783
借入金等収入	0	0	0	0	0
前受金収入	455,758	451,419	494,041	549,855	528,989
その他の収入	119,071	1,436,643	1,505,409	2,078,818	144,072
資金収入調整勘定	△ 650,413	△ 631,428	△ 656,111	△ 622,346	△ 669,155
前年度繰越支払資金	797,024	958,489	1,105,826	715,031	874,157
収入の部 合計	8,223,086	12,994,748	13,858,219	12,442,842	7,616,703
人件費支出	2,032,443	2,069,875	2,177,888	2,040,931	2,105,167
教育研究経費支出	698,228	872,942	665,510	630,320	711,489
管理経費支出	305,971	303,902	309,306	311,747	344,592
借入金等利息支出	0	0	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0	0	0
施設関係支出	589,235	1,714,218	1,486,698	2,154,574	758,723
設備関係支出	242,628	127,374	190,955	84,551	78,351
資産運用支出	3,377,746	6,798,135	8,309,814	6,337,196	2,119,816
その他の支出	63,580	47,832	41,967	40,734	31,870
資金支出調整勘定	△ 45,235	△ 45,356	△ 38,952	△ 31,368	△ 39,326
翌年度繰越支払資金	958,489	1,105,826	715,031	874,157	1,506,021
支出の部 合計	8,223,086	12,994,748	13,858,219	12,442,842	7,616,703

### ②事業活動収支計算書

(千円)

科目		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
教育活動収支	収入の活動	学生生徒等納付金	3,263,385	2,914,030	2,680,075	2,591,706	2,651,820
		手数料	60,691	60,520	63,442	69,824	71,444
		寄付金	2,767	2,629	3,000	600	0
		経常費等補助金	282,806	301,084	299,002	275,523	241,209
		付随事業収入	3,479	2,706	3,742	5,211	3,294
	雑収入	50,501	94,523	194,173	143,171	147,783	
	教育活動収入計	3,663,629	3,375,491	3,243,434	3,086,036	3,115,551	
	支出の活動	人件費	2,038,138	2,078,787	2,160,698	2,071,775	2,140,381
		教育研究経費	1,206,162	1,428,535	1,171,875	1,130,213	1,392,912
		管理経費	341,592	341,003	341,580	345,874	381,757
徴収不能額等		1,847	0	135	0	0	
教育活動支出計		3,587,739	3,848,325	3,674,288	3,547,862	3,915,050	
教育活動収支差額	75,890	△ 472,834	△ 430,854	△ 461,826	△ 799,499		
教育活動外収支	収入の活動	受取利息・配当金	193,567	892,991	221,496	136,803	212,326
		その他の教育活動外収入	32,000	32,000	35,000	35,000	35,000
		教育活動外収入計	225,568	924,991	256,496	171,803	247,326
	支出の活動	借入金等利息	0	0	0	0	0
		その他の教育活動外支出	0	0	0	0	0
		教育活動外支出計	0	0	0	0	0
教育活動外収支差額	225,568	924,991	256,496	171,803	247,326		
経常収支差額	301,458	452,157	△ 174,358	△ 290,023	△ 552,173		
特別収支	収入の活動	資産売却差額	500	172,823	28,053	27,830	45,937
		その他の特別収入	73,362	102,688	40,594	50,865	3,189
		特別収入計	73,862	275,511	68,647	78,694	49,126
	支出の活動	資産処分差額	215,626	134,653	1,532	8,057	12,418
		その他の特別支出	0	0	0	0	0
		特別支出計	215,626	134,653	1,532	8,057	12,418
特別収支差額	△ 141,764	140,858	67,115	70,638	36,708		
基本金組入前当年度収支差額	159,694	593,015	△ 107,244	△ 219,385	△ 515,465		
基本金組入額合計	△ 1,065,743	△ 469,167	△ 451,843	△ 392,942	△ 968,185		
当年度収支差額	△ 906,050	123,847	△ 559,086	△ 612,327	△ 1,483,650		
前年度繰越収支差額	2,765,533	1,859,483	1,983,329	1,424,243	834,916		
基本金取崩額	0	0	0	23,000	0		
翌年度繰越収支差額	1,859,483	1,983,329	1,424,243	834,916	△ 648,734		
事業活動収入計	3,963,059	4,575,993	3,568,576	3,336,533	3,412,003		
事業活動支出計	3,803,366	3,982,979	3,675,820	3,555,918	3,927,468		

### ③貸借対照表

(千円)

科目		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
資産の部	固定資産	45,062,171	45,468,695	45,747,528	45,526,595	44,419,765
	有形資産	19,303,348	20,484,313	21,623,250	23,330,281	23,241,933
	特定資産	13,324,471	12,221,971	11,094,651	9,424,471	9,824,471
	その他固定資産	12,434,352	12,762,411	13,029,627	12,771,843	11,353,361
	流動資産	1,091,459	1,283,659	920,055	1,005,558	1,625,653
資産の部合計		46,153,631	46,752,354	46,667,582	46,532,152	46,045,418
の負債部	固定負債	738,059	746,971	729,781	760,625	795,839
	流動負債	529,367	526,164	565,826	618,937	612,455
	負債の部合計	1,267,426	1,273,135	1,295,607	1,379,562	1,408,293
純資産の部	基本金	43,026,723	43,495,890	43,947,733	44,317,674	45,285,859
	繰越収支差額	1,859,482	1,983,329	1,424,243	834,916	△ 648,734
	純資産の部合計	44,886,205	45,479,219	45,371,975	45,152,590	44,637,125
負債及び純資産の部合計		46,153,631	46,752,354	46,667,582	46,532,152	46,045,418

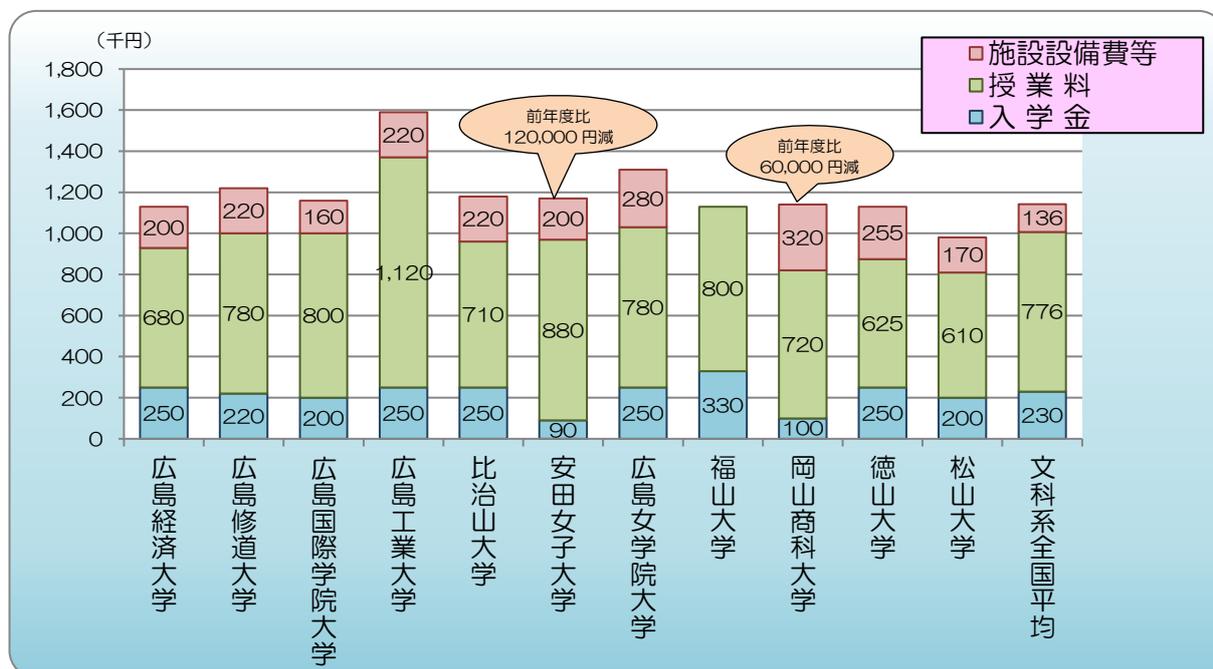
### 6. 財務比率（過去5年：平成25年度～平成29年度）

比率名	算出方法	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$	52.4%	48.3%	61.7%	63.6%	63.6%
教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経常収入}}$	31.0%	33.2%	33.5%	34.7%	41.4%
管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{経常収入}}$	8.8%	7.9%	9.8%	10.6%	11.4%
事業活動収支差額比率	$\frac{\text{基本金組入前当年度収支差額}}{\text{事業活動収入}}$	4.0%	13.0%	△3.0%	△6.6%	△15.1%
教育活動収支差額比率	$\frac{\text{教育活動収支差額}}{\text{教育活動収入計}}$	2.1%	△14.0%	△13.3%	△15.0%	△25.7%
学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒納付金}}{\text{経常収入}}$	83.9%	67.8%	76.6%	79.6%	78.9%
経常収支差額比率	$\frac{\text{経常収支差額}}{\text{経常収入}}$	7.8%	10.5%	△5.0%	△8.9%	△16.4%
純資産構成比率	$\frac{\text{純資産}}{\text{総負債+純資産}}$	97.3%	97.3%	97.2%	97.0%	96.9%
流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	206.2%	244.0%	162.6%	162.5%	265.4%
負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{純資産}}$	2.8%	2.8%	2.9%	3.1%	3.2%
繰越収支差額構成比率	$\frac{\text{繰越収支差額}}{\text{総負債+純資産}}$	4.0%	4.2%	3.1%	1.8%	△1.4%



# Ⅳ：参考資料

## 1. 入学金、授業料及び施設設備費の状況（平成30年度）



※資料出所：日本私立大学団体連合会

## 2. 興動館プロジェクト運営費（平成29年度）

平成30年3月31日現在

種類	プロジェクト名	予算額 (円)	メンバー数 (名)
主催	インドネシア国際貢献プロジェクト	8,605,000	45
主催	子ども達を守ろうプロジェクト	204,000	24
主催	武田山まちづくりプロジェクト	292,000	10
主催	カフェ運営プロジェクト	0	27
公認A	カンボジア国際交流プロジェクト	9,920,000	64
公認A	スポーツによる地域活性化プロジェクト	372,000	79
公認A	コミュニティFM放送局運営プロジェクト	684,000	61
公認B	太田川キレイキレイプロジェクト	143,000	35
公認B	学生FDプロジェクト	794,000	29
公認B	動物のかけがえのない命を守ろうプロジェクト	64,000	47
公認B	中高生の夢・笑顔実現!!プロジェクト	198,951	31
公認B	広島ハワイ文化交流プロジェクト	3,485,000	28
公認B	宮島の魅力を発信したい学生プロジェクト	654,000	34
公認B	広島平和発信プロジェクト	325,000	19
準公認	若旅促進プロジェクト	945,000	11
準公認	サクセスストーリー出版プロジェクト	440,000	5
準公認	食育推進プロジェクト	94,000	16
準公認	東北支援プロジェクト	972,000	11
準公認	国際交流促進プロジェクト	20,000	26
入門	XIN CHAO - ベトナム魅力発信プロジェクト	48,452	5
合計		28,260,403	607



×毛

---